

労働災害発生状況

令和元年（令和元年7月末統計）

釜石労働基準監督署

業 種		当年累計	前年同期	対前年同期		月 別 発 生 状 況												
				増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品																	
	水産食料品	1	6	-5	-83.3%				1									
	上記以外の食料品	2	1	1	100.0%					1	1							
	繊維・衣服その他繊維製品																	
	木材・木製品、家具・装備品																	
	パルプ・紙、印刷・製本																	
	化学工業																	
	窯業土石																	
	鉄鋼業、非鉄金属		1	-1														
	金属製品																	
	一般機械器具		1	-1														
	電気機械器具																	
	輸送用機械製造		2	-2														
電気・ガス																		
その他の製造		1	1	0	0.0%	1												
小計		4	12	-8	-66.7%	1			1	1	1							
鉱業		1		1		1												
建設業	土木工事	4 (1)	6	-2	-33.3%	2	1	1 (1)										
	建築工事																	
	鉄骨・鉄筋家屋		1	-1														
	木造家屋	1	4	-3	-75.0%					1								
	その他の建築工事		1	-1														
その他の建設		1	-1															
小計		5 (1)	13	-8	-61.5%	2	1	1 (1)		1								
運輸交通業	道路貨物運送業	1	2	-1	-50.0%		1											
	その他の運輸交通業																	
貨物取扱																		
農林業	農業																	
	林業	1	2	-1	-50.0%	1												
畜産水産業	畜産業	1	2	-1	-50.0%			1										
	水産業	2	1	1	100.0%		1		1									
商業	小売業	6	4	2	50.0%		2	2		2								
	その他の商業		1	-1														
通信業			1	-1														
保健衛生業	社会福祉施設	1	3	4	-25.0%	1	1				1							
	その他の保健衛生業																	
接客娯楽業	旅館業	2		2					1		1							
	飲食店	2		2		1				1								
	その他の接客娯楽業																	
その他	ビルメンテナンス業		1	1			1											
	その他(上記以外の全ての業種)	1	2	1	100.0%			1				1						
合 計		2	31 (1)	43	-27.9%	7	7	6 (1)	2	5	3	1						

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。

内は死亡者数(内数)である。

「今月分」は、当月報告受付件数(内数)である。

()内は交通労働災害者数(内数)である。